「国と地方の一体的実施」の関連施策

アクション・プランに基づく「国と地方の一体的実施」の具体化にあたっては、これらの事業等で蓄積されたノ 「国と地方の一体的実施」の関連政策としては、若年者の就労支援等について、下記のようなものがある。 ウハウ・事業基盤を活かして、ご提案いただくことも考えられる。

自治体のご提案の中で、下記の平成23年度予算で活用できるものについては、厚生労働省は、でき る限り早期に実現できるよう、自治体と協議する。

〇ジョブカフェ 【46都道府県(90カ所)】

厚生労働省はジョブカフェにおいて就職セミナー等の委託事業を実施するとともに、都道府県からの要 都道府県が若者のためのワンストップサービスセンター(通称ジョブカフェ)を設置。 請に基づきハローワークを併設、職業紹介・職業相談を実施。

※ 40都道府県で、ハローワークを併設

〇ふるさとハローワーク事業 【全国153カ所】

国と地方自治体とが共同で地域の実情に応じた雇用対策を積極的に実施するための拠点として設置

O「福祉から就労」支援事業 【新規】

地方自治体とハローワークの間で協定を結び、地方自治体とハローワークの担当者で構成する支援 チームが、生活保護受給者等に対して、積極的な就労支援を実施

〇求職者総合支援センター(平成23年度で終了) 【全国56カ所】

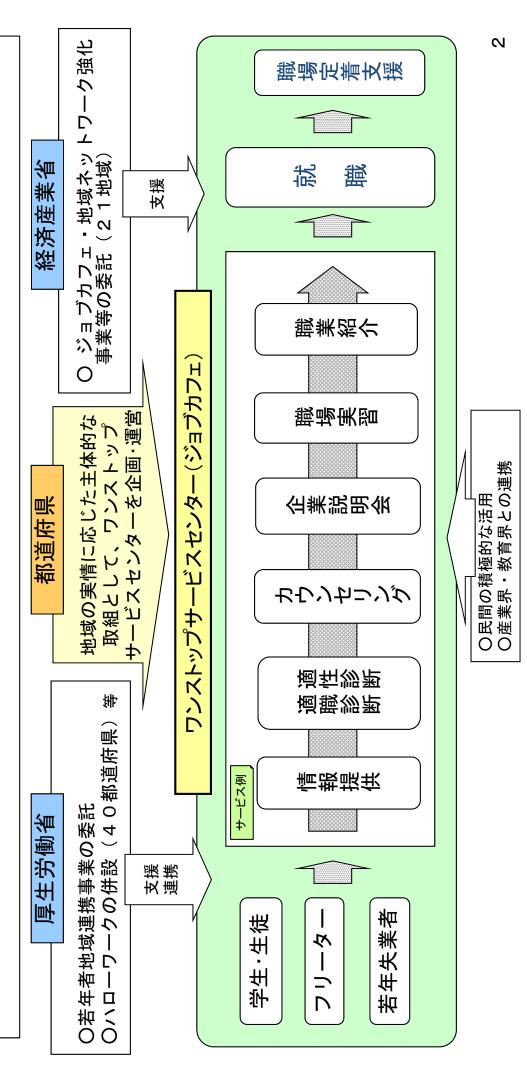
求職者に対し、都道府県と国が、就業と生活に関する相談を総合的に実施

都道府県が緊急雇用創出事業により造成する基金を活用して設置。

ジョブカフェ

平成23年度予算案 1,522(1,561)百万円(厚生労働省分)

- 平成15年6月に策定された「若者自立・挑戦プラン」に基づき、都道府県の主体的な取組として、 年者に対する幅広い就職関連サービスをワンストップで提供する施設。 妣
- O 46都道府県(90カ所)に設置。(平成22年4月現在)
- 平成21年度実績:利用者数192.6万人、就職者数9.0万人。



ふるさとハローワーク事業の推進

事内業容

ローワーク」を設置し、地方自治体が講ずる就業支援施策とハローワークによる職業相談・職業紹 地域求職者の多様なニーズに応え、労働力需給調整のミスマッチを解消する目的で、国と地方自 治体とが共同で地域の実情に応じた雇用対策を積極的に実施するための拠点として「ふるさとハ 介を一体的に実施

2,070百万円 平成23年度予算案 个 2,558百万円 【予算額】平成22年度

> ハロー ワーク 類型

《**都道府県等連携型》** 平成22年:26力所

都道府県及び政令指定都市の求めに応じ設置

(国と都道府県等とが連携して設置する運営協議会において事業運営計画を策定し、これに基づき共同で支援を実施)

《**市町村連携型》** 平成22年:127力所

事業

スキー

公共職業安定機関が設置されていない市区町村の求めに応じ、市町村庁舎等を活用して設置

ო 《ふるさとハローワーク(市町村連携型)》 ワークによる職 業紹介·職業 相談 ハローワーク の全国ネット 베 市町村の庁舎等を活用 サービスとして 実施する相談・ 情報提供業務 市町村が住民 市町村 ワークによる職 業紹介·職業 相談 ハローワーク の全国ネット 《ふるさとハローワーク(都道府県等連携型)》 囲 運営協議会を設置し、事業運営計画の策定 民間に委託し て実施する就 職支援事業 国(労働局)が 国の委託 地域の産業施 策等に関連し 都道府県等が て実施する雇 用対策 都道府県等

「福祉から就労」支援事業(仮称)の概要

囯 、支援手法、^而 3, 491百円 3, 491 軸 当該事業に関する協定(支援の対象者、対象者数、目標 平成23年度予算案 地方自治体とハローワークの間で、 者の役割分担等)を締結。

